
月夜の夢

浅葱李王

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

月夜の夢

【コード】

N0537A

【作者名】

浅葱李王

【あらすじ】

出会いによって変わっていく女子高生の物語…月夜の不思議な出会い、止まっていた時間はゆっくりと動きだす。

新月（前書き）

初の小説です。その前に私は文章力なさすぎです（泣）つまらないコト間違いないです……ソレでも仕方ないから読んであげるよって方ヨロシクお願いします。

新月

私は強いから…

一人でも大丈夫…

私は強い…

夜は好き。

暗い中にぼつんと浮かぶ月が好き。

朝：未歌は目を覚ました。

（ダルイ…）そんな言葉が浮かぶ中、制服に着替え家を出た、学校へ行くために。

学校に着くと未歌の周りに人が集まってくる。

「未歌、おはよう」

真衣が声をかけてきた。

真衣は入学した頃からよく未歌にひつついてきていた。

「おはよう」

いつからか覚えた作りものの笑顔で挨拶を返す。

「未歌ちゃんと課題やった？横ティあんなに課題だからマジ勘弁だよ〜」

真衣や周りのコ達が話を始める。

「やったよ。横ティ忘れるとうざいしね」

未歌は適当に話を合わせていく。

この単調な作業を放課後まで行いながら未歌は未歌という物を作っている。

学校：未歌にとってはどうでもいい場所。

大人や周りが満足するように未歌は毎日をすごす。

作りものの笑顔：たいていの人がこれで満足する。

未歌はこうやって一日をすごす。

そして明日も。

そんな毎日が変わってしまっなんて未歌は思っていたらどうか……いつもと同じ毎日もう終わりへと動きだしていた。

ゆっくりとゆっくりと誰も気付かない速さで……出会いは突然やってくる。

その日、未歌は夜の公園を歩いていた。

新月……空に月はいない真っ暗な空を見上げ未歌は呟いた消えそうな小さな声で、

「お月さまいないんだね……」

「僕なら此処にいるよ」

背中から声がして未歌は驚いて振り返った。

そこには同じ年くらいの男の子がぼつんと立っていた。

ツキ

出会い……

男の子に出会ってから4日が過ぎていた。

未歌は同じ毎日をすごしている、代わり映えのしない日常。ただ一ヶ月だけは形をかえ空に浮かんでいた。

「未歌！！聞いているの！」

母親の苛立った声に未歌はハツとなって言葉を返した
「すみません。ぼーっとしていて、なんですか？」

「テストの結果はどうだったの？」

「いつもどおりです」

毎回同じ言葉を繰り返してきた親子の会話。

「そう、じゃあ安心ね。あなたはイイコだわ」

母親は満足したように笑った。

未歌は溜息を吐き出した。

成績優秀、親の言う事を良く聞いて外見も整っている、未歌はそういう風に自分を作り上げてきた…
そうすれば何も起こらないから。

あの日の夜。

夜のことを未歌は思い出していた…

「ごめん。思わず声かけちゃった」

男の子は話しだす。

未歌はそのまま立ち去ろうと歩き始めた。

「待って！マジごめん！気分悪くしたよね」

男の子は後ろをつついていく。

「ついてこないでくれる」

未歌は冷たく言い放った。

「じゃあまた話せないかな？ナンパとかじゃないし。いつも君は月を見上げていたでしょ？」

男の子は臆する事無く満面の笑みを向け未歌に言葉をなげかける。

「……………」

未歌は無言のまま歩き続ける。

公園の出口を出ると男の子は立ち止まり未歌に綺麗な声でその日最後の言葉を発した。

「僕の名前はツキト。またね」

未歌はその言葉を背中に聞きながら振り向く事無く家へと帰った。

優しい声だった…

真つすぐに見つめてくる笑顔が恐かった…

未歌はそんなことを想いながら窓から月を見上げていた。

細い細い三日月…

暗い空に浮かぶ冷たい月…

ツキ（後書き）

話が進んでいないしわかりづらいと思います。 いったい私は何を書きたいのやら（汗） 次にはちよっとした展開があるハズです。 よろしければ見守って下さい。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n0537a/>

月夜の夢

2010年10月28日08時34分発行